製品安全性確保に向けた取り組み（品質保証）

基本的な考え方

トピアグループは、現状に満足することなく常に技術力の向上およびモノづくりに関連する業務の質的向上に努め、お客様に満足していただける品質をつくり出すことを目指し、以下の「品質方針」を定めています。また、この方針に基づきグループ各社が公明正大にモノづくりを追求・実践し、ステークホルダーの皆様をはじめ世界中から信頼される企業を目指していきます。

品質方針

基本理念

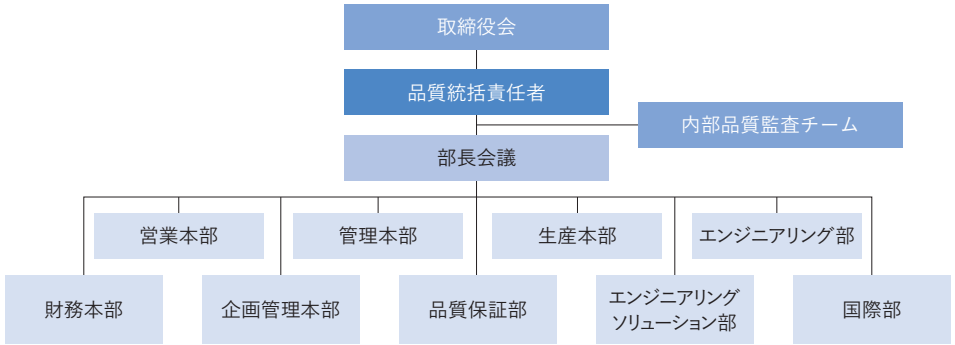
トピアグループは、「絶対品質」を品質の理念とし、より高い技術力と業務の質の向上に努め、お客様に満足と信頼の品質を提供できる企業を目指します。

行動指針

トピアグループは、製品及びサービス提供の事業活動を通じて、以下の活動を行います。

1．顧客要求事項及び法令・規制要求事項を遵守します。
2．品質目標を達成するために、品質目標を設定し、改善を進めます。
3．製品及びサービス提供の業務プロセスの質を重視し、継続的な改善を行います。
4．品質方針は、社内に掲示し、従業員に理解と周知徹底を図り、品質意識の向上に努めます。

品質保証体制



行動指針

ISO9001 登録証

JIS Q 9100 登録証

トピアでは、品質マネジメントに関する取り組みとして、2009 年 8 月に ISO9001（品質マネジメントシステム）を、また 2011 年 7 月に JIS Q 9100（航空・宇宙および防衛分野における品質マネジメントシステム）の国際認証をそれぞれ取得し、現在に至るまで更新しています。また、製品およびサービスの安全性確保・向上を図るため、以下の活動を実施しています。

品質工程パトロール

各作業現場において、品質への取り組みはもちろん、5S や環境、作業者意識を品質工程パトロールにて確認し、改善事例などを全部門で共有しています。

品質教育活動

品質統括責任者の主導のもと、品質向上を目的とした教育テーマを適時定めています。このテーマに沿って、各部門長が随時、部員に対する教育を実施し、品質に関する意識の底上げ、知識の向上を図っています。

品質スローガン募集

毎年、全従業員より品質標語（スローガン）を募集し、最優秀賞 1 作品を社内各エリアに掲示しています。また、優秀賞 8 作品、入選 10 作品、佳作 20 作品を厳選し表彰するなど、一人ひとりの品質意識向上に努めています。

高付加価値製品の開発

基本的な考え方

世にないモノを「形」に

お客様のニーズを具体的な工法へ落とし込み、最適な設計・開発の提案および部品や材料の調達を行い、自社工場で生産します。その品質の担保まで行うという「形」までの一連のステップを、トピア独自の技術と責任で良い製品を社内一貫体制で提供し、高度な要求や課題解決にも迅速に対応することを可能としています。

多様な設備

接合ライン

一点ものから多品種小ロット生産までを実現

バーコードによる生産情報の一元管理を実施しており、毎月 1,000 種類を超える製品を製造し、「いつ」「誰が」「どの工程を」「いつまでに」完了させるかをリアルタイムに確認する進捗管理に加え、蓄積した生産情報をもとに、工程管理や原価管理が可能となっています。社内の設備を複合的に用いることにより、ほかでは成し得ないモノづくりを実現し、様々なお客様のニーズに対応しています。

トータルプロダクト体制の確立に向けて

BIW (Body in White)

単品から組立に至るまでの設備力と製造力

要求レベルの高い国内外大手企業との長年の取引実績に裏打ちされた、製品の提供を行っています。

業界トップレベルの短納期と品質を担保できる生産・品質管理技術と体制を整備し、設計から製造、品質管理までワンストップでバリューチェーン全体をカバーできる高度な対応力を備えています。

コスト性に優れた軽量化を提案

多種多様な製品の軽量化を提案

自動車業界を中心に、複数領域に精通した経験豊富な設計者と技術者により、軽量化を提案します。お客様のニーズを実現するため、最適な生産設備、検査設備、治具やシミュレーションを内製化し、工法検討・金型設計・治具設計の同時進行や、材料・設備メーカーとの協働により、高品質・短納期・低コストを実現します。

小ロット生産への対応

小ロット生産に対応できる生産体制を整備

試作に特化したものから、小ロットにも対応した国内外の最新設備を複数導入し、多品種小ロット生産を実現しています。

各工程において加工技能者の育成に注力するとともに、CAD/CAM 専任の技術者が多数在籍し、試作だけにとどまらず多品種小ロット品も社内一貫体制で対応し、低コストかつ短納期を実現しています。

技能者の育成

ほかにはない「トピアブランド」の提供

技能研修制度、品質管理規定などの資格取得支援や、外部教育機関の活用、OJT に注力しています。難易度の高い仕事については、物理的、技術的な課題を克服し、高付加価値製品の提供のため、国内外で技能者の育成に取り組んでいます。

特集 社内公募デザインをベースに、オリジナルEVを試作

世界に誇れる「ひとつのモノ」を提供します。

テーマ ユートピアの車：可能とするミライへ…

2022年、デザインを社内公募から厳選したものを実車に。

デザイン、設計から金属加工、樹脂加工、組立治具に至るまでの全てを社内で一貫生産し、材料特性に精通した技能者集団が組立までを最適な工法で検証し実現しました。トピアの蓄積された技術は企画開発から手掛けるコンストラクターの領域に達しています。

開発部門長メッセージ

株式会社トピア
常務取締役
杉浦 智寿

トピアは持続可能な未来に向けて走り続けます

今回はイメージを具現化するという単純なものではなく、「次世代に向けた魅力ある電気自動車を社内で作れる企業」といった使命を持ち、全社一丸となって完成させることができました。よりオリジナリティを出すために社内でデザインを募集し、当社の一人ひとりがトピアのイメージを絵にし、曲線を中心とした伸びやかなスタイルにまとめました。

先端素材であるカーボンSMCやホットスタンプ材の採用、多種多様な溶接機や異種材接合機の使用、住友重機械工業㈱開発のSTAF設備による製法を取り入れるなど、まさにトピアの設備と技術の結晶の見える化と言っても過言ではありません。完成車は各地の展示会に出展され、来場された方々からも高い評価をいただきました。これにより、『EVに不可欠な軽量化技術に特化した会社』としての認知度が一気に高まり、プロジェクトの達成感で満たされました。今後も新たな開発の種を探求し、具現化していきます。

数多く寄せられた
社内公募デザインの審査から

完成したオリジナルEV「Grand HUVO」

多様な人財が働きやすい環境づくり（労働安全衛生）

基本的な考え方

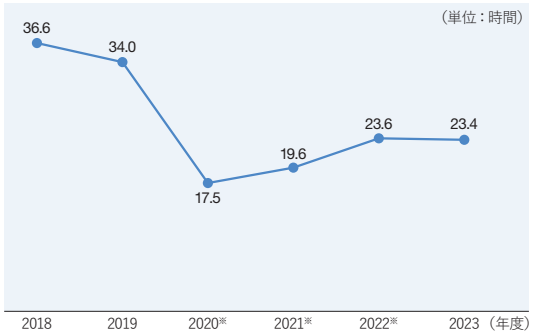
トピアで働く全ての人および地域社会の安全・健康への影響を最小限となるよう、企業活動の中で安全衛生管理を徹底し、働きやすい環境づくりを目指します。

健康経営の推進

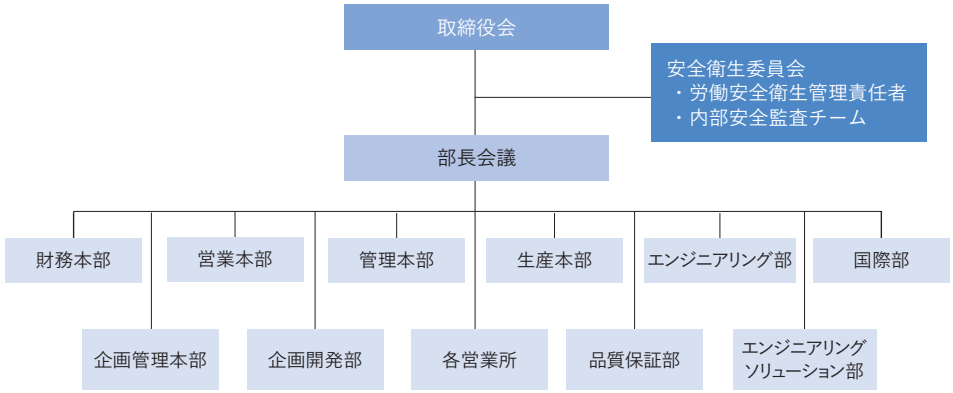
残業申請承認システムを構築し、36 協定の遵守はもちろん、時間外労働管理の厳格化を図り、全従業員の健康増進に努めています。

※ 2020 ～ 2022 年度の3ヶ年においては、コロナ感染症の影響により一時的に時間外労働時間が減少しました。

時間外平均労働時間（一人当たり）



安全衛生体制



防火・防災への取り組み

定期的な避難訓練および救急救命講習を実施し、災害発生時に適正・適切な対応ができる環境を整えています。また工場内の見回りを毎月実施し、災害時のリスク低減を図っています。

防災訓練の様子

救命講習の様子

労働安全衛生への取り組み

製品および材料の運搬に関して、適切な方法の遵守を徹底し、落下･転倒災害の防止を図っています。

外部コンサルの指導を受けてリスクアセスメントの体制強化を図り、職場の危険因子を取り除くよう努めています。

フォークリフト安全講習の様子

交通事故防止への取り組み

交通安全週間に合わせて、出勤時の交通安全パトロールを年 4 回実施し、従業員の交通安全意識向上と交通ルールの遵守を徹底し、交通事故防止を図っています。

交通安全パトロールの様子

多様な人財が働きやすい環境づくり（ダイバーシティ推進）

基本的な考え方

トピアグループでは、不当な差別の禁止を掲げています。従業員一人ひとりがお互いに人格・個性を尊重するとともに、人種、宗教、国籍、性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、公平な人財の登用や活用を推進しています。

女性の活躍推進

トピアグループでは、良好な職場風土の醸成や各種制度の充実を図り、出産・育児と仕事を両立しやすい環境づくりに取り組んでいます。例えば、育児短時間勤務制度の利用期間について法定を上回る「小学校就学までの期間」としています。また、2030 年までに、グループの管理職に占める女性の割合を 20% に増加させることを目標としています。

育児休業取得率

	男性	女性
2021年度	42.9%	100.0%
2022年度	66.7%	100.0%
2023年度	38.5%	100.0%

障がい者雇用の取り組み

トピアでは、障がい者も健常者も共にいきいきと働ける職場づくりを目指しています。2023 年度の障がい者雇用率は、法定雇用率 2.3％を達成しています。会社生活や日常生活での悩み相談などは社内のみならず、外部の協力も得て解決しています。

障がい者雇用率

	法定雇用率	実績
2020年度	2.0%	2.1%
2021年度	2.1%	2.1%
2022年度	2.2%	2.2%
2023年度	2.3%	2.3%

外国人従業員の活躍推進

トピアでは、外国人従業員の比率が 1 割以上を占めています。日常会話が可能な JLPT の N3 レベルの取得を目指し、週 2 回、時間外に外部講師を招いて日本語教育を実施しています。さらなる日本語能力の向上を目指す従業員には、N3 以上の資格獲得のための教育も用意しています。

また、業務マニュアルおよび社内ルールの多言語化や画像を活用し、全員が一丸となって活躍できる職場環境や企業風土の構築を進めています。

VOICE

拓彼亜機械科技
（常熟）有限公司
部品部
沈次長

日本での技能研修を経て海外拠点でチームを養成

新しいこと、特に日本の高品質な製品がどのように作られているかに興味があり、研修に参加しました。言葉の不安はありましたが、綿密な教育計画のもと、トピアの企業文化の豊かさ、そして皆さんの責任感の強さと規則を守って一生懸命に業務に携わっていることに感動しました。

帰国後は技術担当者のチームを養成しました。仕事の目標を明確にすることの大切さを学び、モノづくりの理解が進んだことを、現在の業務上で原価低減に活かしています。

成長を実現する職場づくり（人的資本経営）

基本的な考え方

トピアでは創業以来、経営理念（野鳩の精神、救急病院の責任感、チャレンジ精神）が、従業員の意思決定する際の判断基準となっています。この経営理念に基づいて行動することにより、業務が効率化され、成長の原動力につながると考えています。

全社一斉清掃

トピアでは、毎月１回、国内の各拠点を含めた全社一斉清掃を実施しています。

全従業員で行うこの清掃活動の範囲は、トピア社内の敷地はもとより、周辺地域まで広げて実施しています。

あいさつ運動

トピアでは、コミュニケーションの活性化の一環として、毎年６月、10 月を「あいさつ強化月間」と定め、それぞれ１週間、幹部社員と新入社員が当社敷地入り口に整列し、始業前の従業員に対し進んであいさつする活動を行っています。

普段から自らが進んであいさつすることを実践する企業風土を醸成することにより、職場や取引先をはじめ様々な関係者との円滑な業務遂行にもつながるものと考えています。

教育・研修制度

アクションプラン

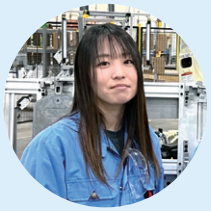
トピアでは、入社２年目以降の従業員向けに、毎年の社長方針に基づいた各部署の方針・テーマに関連した自身の成長戦略を掲げる育成制度を設けています。各テーマに対し上長は部下に求める課題を与え、目標達成に向け年３回の上長との面接を実施し、従業員の育成を図っています。

研修生教育制度

トピアでは、入社１年目の新入社員を研修生として戦略的に育成することとしています。安全・品質・5S などをテーマとした月１回のディスカッションを行い、「気づきの感性」の体得に努めています。

この取り組みを通じ、社会人としての心構え、今後モノづくりを行っていく上で必要不可欠である知識などを早期に習得することを目指しています。

VOICE



TPAM INC.
Engineering Div.
Engineering Assistant
出口さん

アメリカへの短期派遣で幅広い実務を体験

入社当時は漠然と海外で働きたいという思いがあり、本社での経験を精一杯発揮できる良い機会と思いました。

日本とアメリカではお客様の要求が異なり、アメリカでは品質規程を引き出していく必要が多いと感じました。最大の特徴は、任せてもらえる業務の範囲が広いことです。配属部署以外の仕事が、現在の部署での仕事に役立っています。

日米両国での業務に違いはありますが、ゴールは同じです。今回お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、さらに精進していきたいと思います。

社会への貢献

基本的な考え方

1973 年の創業以来、トピアは近隣地域の皆様に支えられ成長を遂げてきました。今後も地域社会と密接にコミュニケーションを図り、「人・社会」が共に豊かになる社会貢献活動に取り組んでいきます。

インターンシップの受け入れ

トピアでは、近隣の学生を対象として、インターンシップを実施しています。学生の将来のキャリア選択の一助となることを目指し、トピアでの最先端技術や設備を実際に体験し、試作というモノづくりに挑戦してもらうプログラムを用意しています。

インターンシップの様子

地域スポーツチームへの協賛

三重県に本社を置くトピアでは、2017 年より伊賀 FC くノ一三重、2021 年よりアトレチコ鈴鹿クラブ等、地域スポーツチームへの協賛活動をしています。これからも、スポーツを通じた地域の活性化や若い方々の育成を応援していきます。

第2回トピアマッチデーの様子（2023 年9月開催）

足踏み式消毒液スタンドを寄贈

鈴鹿および四日市市役所や鈴鹿市医師会ならびに近隣地域へ、トピアオリジナルの消毒液スタンドを製造・寄贈しました。この消毒液スタンドは、コロナ禍で苦しむ医療機関や行政機関に何らかの手助けができないかとの思いで設計から生産までを行い、合計 300 台を寄贈しました。

鈴鹿市役所にて

四日市市役所にて

地域社会とともに成長する企業づくり

三重県 SDGs 推進パートナーとして、SDGs への取り組みを推進しています。また「地域未来牽引企業」に選定されており、地域社会とともに成長する企業づくりを使命と考えています。